

2025年度水・地域支援事業
(ビジネスプランコンテスト)
課題提起・付加価値創造コース (アイデア募集)

採択ビジネスアイデアの概要

アイデア名称：水灯音 (すいとうおん) プロジェクト

採択者名：井下 湧太郎

(注) 本ビジネスアイデアの概要を原文のまま掲載します。
本ビジネスアイデアの知的財産権は、採択者が有しています。
本ビジネスアイデアの無断転載・引用を禁止します。

2025年9月1日

主催者 公益財団法人 水・地域イノベーション財団

【ビジネスアイデアの概要】

<応募ビジネスアイデアで対象とする課題及び考案の経緯>

地方観光地では夜間の来訪者が伸びず、昼間に美しい清流・湧水を抱えながらも夜は闇に沈む遊休資源となっている。結果、夜間消費額は伸び悩み、飲食・宿泊など域内経済が取りこぼされている。加えて水辺への関心が薄れゴミ・ライトアップ電力消費など環境負荷も課題化していた。自然エネルギーである水流そのものを動力に転換し、光と音を自立生成する装置を作れば、電力ゼロで夜の水辺を魅力的な観光資源に再生できると考案した。

<課題解決するための現段階でのアイデア>

「水灯音プロジェクト」は、川や湧水の流れを小型水車に取り込み、カム機構で竹筒・木琴を叩いて音色を生む“水力楽器”を並べる。打音リズムはLEDストリングライトに同期し、水面と岸壁に桜色・蛍色・紅葉色・雪白の四季演出を投影。昼は清らかな水音ヒーリング、夜は光×音のアート空間という二毛作型運営で滞在時間を延伸。来訪者は水門ハンドルやスマートフォンを活用して独自の音を追加でき、自分だけのフレーズと色変化を体験。電源・配線不要のため河川敷や棚田などインフラが脆弱な地域にも設置でき、地元竹細工・陶器で外装を制作し地産地消と雇用を創出。派生として貸切ディナー会場やナイトウェディングを提供し年間1億円以上の多層収益を見込む。夜間回遊性向上と環境負荷ゼロを両立し、地域ブランドを「水と光と音のまち」へ高める。